

活動結果報告書

令和8年 5月 7日

越前市議会

議長 大久保健一 殿

議員氏名 土田 信義

下記のとおり報告します。

日 程 令和8年5月1日(金曜日)

活動先 越前市

活動目的 議会の内容を市民に報告

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

土田のぶよし通信 12号（増刷）

土田のぶよし通信12号 印刷（㈱プリントパック）

印刷部数 2,500部 印刷金額 12,430円

内容別紙のとおり

土田のぶよし

通信



発行 土田のぶよし 携帯 090-2834-8861 Mail nobut2001@yahoo.co.jp

令和8年度当初予算・補正予算、計407億8,660万7千円 可決

令和8年度当初予算398億5,200万円、令和8年度補正予算9億3,460万7千円、合わせて407億8,660万7千円を、先般の議会で可決しました。内容は、

- ① 安全・安心、災害に強いまちづくりを推進する取組み、
- ② こども・子育て世帯への支援
- ③ 市民活躍を支える取組み
- ④ DX等の推進、です。

DX:デジタル技術により生活やビジネスそのものをより良い方向へ変えること

有難いのは、小学校給食の無償化の予算が付いたことです。

土田のぶよしは、子育て支援として、小・中学校給食の無償化求めてきました。学校給食は、義務教育の一環です。東京都のように財政が裕福なところは、無償で、財政にゆとりがない自治体は、有償では困ります。ますます格差が広がりがねません。

立憲・維新・国民の3党は、2024年12月に、公立

の小中学校などの給食費を無償化する法案を共同で提出し、国会で大きな論点となっていました。2025年の通常国会で、自民・維新・公明の3党が合意し、小学校の無償化が決まりました。国の支援額は、児童1人当たり月額5,200円です。越前市は給食費が補助額を上回ることから、差額の自己負担が残ります。

しかし、令和6年12月議会での、学校給食の無償化を求める請願の採択が実現しました。国・県の交付金に加え、市独自の追加支援により、新年度から小学校の給食費が無償となります。3億3,126万円余が、可決されました。この請願の紹介議員は、大久保恵子議員と土田のぶよしです。市議会議員20人中、17人が賛同しました。

また、物価高騰対策として、4億190万円が計上されました。越前市に住民登録があり、平成19年4月1日までに生まれた方が対象です。一人当たり5,000円分のデジタル商品券又は、紙商品券が配布されます。6月下旬に個人当てに「通知はがき」が届きます。市内の商品券参加加盟店で使えます。

下水道料金の見直し



越前市は、市水道料金・下水道使用料等協議会から「下水道料金を令和8年10月検針分から、25%の引き上げが必要」との答申を受け、見直しの提案がありました。

土田のぶよしは、次のことを要望しました。「いつまでも下水道区域以外の方からの税金、つまり一般会計からの繰り入れに頼る会計では困る。

下水道使用料の見直しは必要。しかし、値上げは、物価高騰が続く中で市民の負担が大きい。賃金の上昇や国の経済対策を見てからにしていきたい。」

市からは、「段階的な引き上げや、国の交付金活用など、市民負担を軽減できるよう検討を進める」との回答を得ました。



この「議会報告通信」は、政務活動費を使って作成しています。



小学校 無償化



幼稚園・中学校 3割支援

保育園等 28%支援

小学校給食の無償化



くらし応援商品券を配布

科学的根拠に基づく認知症・フレイルの予防

高齢者の認知症の割合は、生活習慣の改善などにより低下傾向にあります。一方、認知症の一步手前とされる軽度認知障害(MCI)の割合は20%と、課題を抱えています。

3者協定による認知症予防

市は、令和7年11月、市民の認知症予防や健康増進につなげるため、国立長寿医療研究センター(愛知県大府市 荒井秀典理事長)、ほっとリハビリシステムズ(越前市高木町 松井一人代表)との3者にて、連携協定を結びました。

「ほっと」は、理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)などを多数配置し、身体機能回復の専門性が高い事業所です。

市は、この3者の協定に基づき、「認知症・フレイル予防」を推進するため、令和8年度当初予算に4,026千円を計上しました。

この事業は、まず、同センターが開発した脳の健康度をチェックするウェブサイトを利用してもらいます。利用者は、自身の認知機能を「データ」により見える化でき、状況により「脳活チャレンジ教室」へ案内されます。教室は市内で介護予防教室を開いている「ほっと」が受け持ち、同センターが考案した運動法などによって頭と身体 の健康増進につなげます。

MCI(軽度認知障害)の段階で発見し、生活習慣を改善することで、認知症への進行を遅らせようとする事業です。

健康

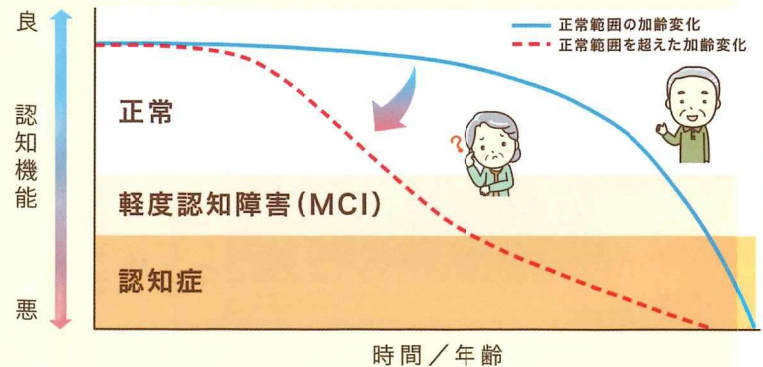


約80%

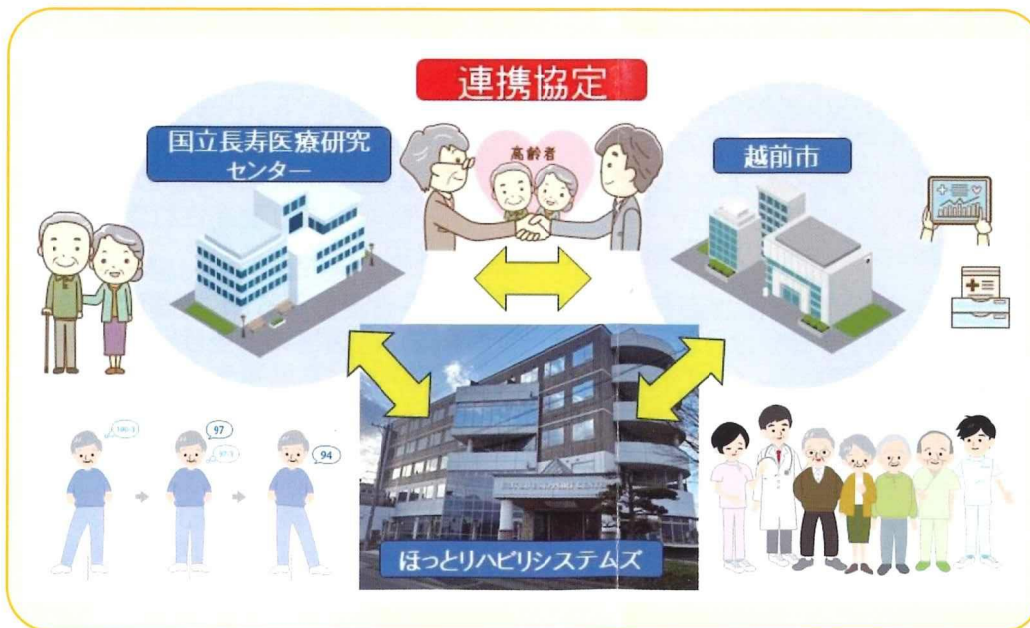
約20%



高齢者の約20%がMCIと推定



国立長寿医療研究センター資料より



土田のぶよしは、市役所職中に介護状態にならないように、町内単位での「つどい」や「サロン」を推進しました。(平成29年)

市はその後、包括支援センターを設置し、「介護が必要になる前の段階(フレイル)」を対象とした予防活動などに力を入れています。

その結果、介護の必要な方の割合が増加せず、元気な方が増え、全国の

要介護認定率20.08%に対して16.13%と、介護が必要な方が2割も少ない状況です。(下図表参照)

令和6年度の決算額を見ると、介護保険給付費は73億円かかっています。

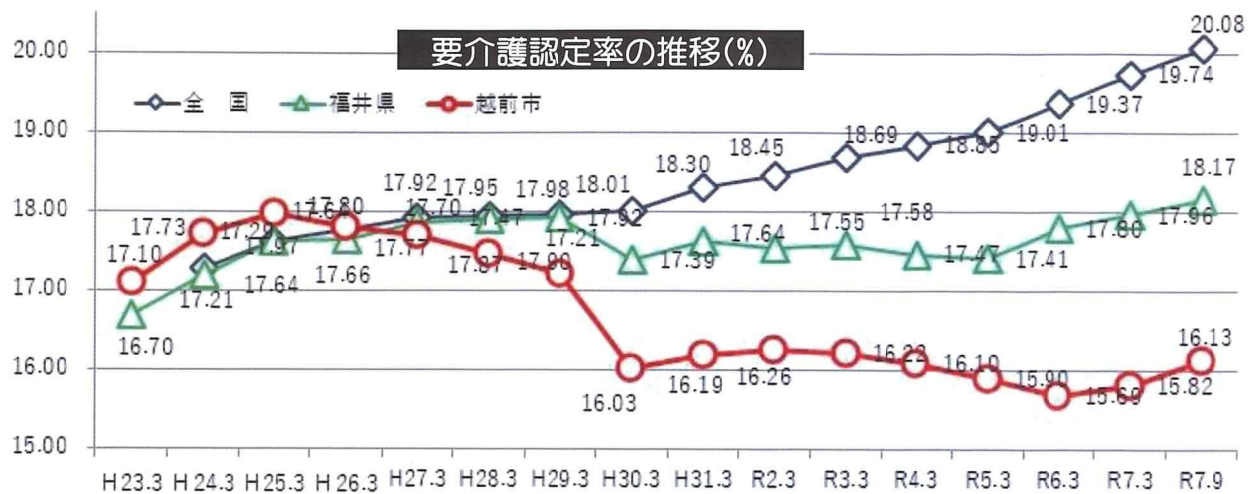
もしも、国と同じ率で要介護者がいるとすると、年間に87億円の費用が見込まれます。年14億円以上の介護保険の支出が減っている試算になります。

このことで、越前市は全国平均よりも介護保険料が安く、負担が低くなっています。(上図)

地域の力で、町内体位での「つどい」や「サロン」が継続され、包括支援センターをはじめとした介護予防関係者のご尽力のお陰です。ありがたい事です。

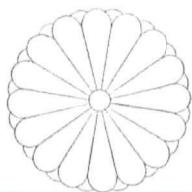
土田のぶよしは、予算審議にあたり、これらのことを評価し、「3者連携協に基づく認知症・フレイル予防の事業」への期待を表明しました。

介護保険料基準額(月額)



私が選んだ越前市の宝物 その② さくのみち・たけふ菊人形

全国唯一「菊」がテーマの、万葉菊花園



皇室の紋
十六葉八重表菊

引用: 日本政府・内閣



鎌倉時代、後鳥羽上皇が菊を大変好み、自らの印として愛用しました。その後、皇室の紋として十六葉八重表菊が定着しています。

今日では、菊は、私たちのパスポートのデザインをはじめ、コイン、紙幣に使われ、「さくら」とともに事実上の国の花となっています。

日本の伝統や文化を表す花として尊重されています。

いわば、現在の日本のシンボルです。

越前市は「たけふ菊人形」の街です。

土田のぶよしは、幼少のころから「たけふ菊人形」が、大好きでした。もちろん現在もです。こんな越前市民が多いのではないのでしょうか。

もともと、本市は北陸随一といわれるほど菊づくりが盛んで、秋には寺社の境内で自慢の菊を展示し技を競っていました。

今日でも、大菊の1本の芽から、7本の枝を伸ばす7本仕立栽培など、独自に進化した技が伝承されています。

そして、市の花は、「菊」です。

これらを背景に、本市は、全国で唯一の「菊」をテーマとした都市農村交流施設、「万葉菊花園」を配置しています。ここでは、年間を通じて「たけふ菊人形」用の菊の栽培見学や展示が行われ、菊づくり講習会も開催されています。

これは、本市が全国や、海外に自慢できる取り組みです。

● おわりに

現在、本市自慢の「菊」や、「たけふ菊人形」の始まりにスポットを当てた取り組みが企画されています。

演劇「菊の都ものがたり」～時代を超えて～の公演です。

劇の背景はつぎのとおりです。

終戦後の暗い世相の時代、当時の尾崎稲穂市長（武生市第2代市長）は、なんとか明るく楽しい町をつくりたいと、菊人形開催を決断します。

しかし、菊人形を展示するにあたり、武生には菊人形をつくる技術者がいません。

尾崎市長は、枚方で菊人形の開催にかかわっていた大西工芸社の協力を取り付けます。

土田のぶよしは、枚方の大西工芸社社長（劇中では、小西工芸社）の役で、ちょこっと出演します。そして、本市出身の吉本芸人「シベリア文太」さんが、特別出演します。

お楽しみです。是非、ご覧ください。



たけふ菊人形の
ゴーカートに乗る土田のぶよし



全国唯一 菊をテーマとした
都市農村交流施設「万葉菊花園」

シニア劇団あすなろ第3回公演

菊の都ものがたり

～時代を超えて～

脚本・演出/北西 紀郎美

【特別出演】シベリア文太
吉本興業

日時 令和8年5月10日(日)午後2時
開場 午後1時30分

場所 越前市文化センター大ホール

入場料 一般前売り 1,500円 一般当日 1,800円
中学・高校生 1,000円 小学生 500円
未就学児 無料

※ワゴンにて
昼12時より
スイーツやドリンクの
販売を行います

活動結果報告書

令和8年 6月 2日

越前市議会

議長 大久保健一 殿

議員氏名 土田 信義

下記のとおり報告します。

日 程 令和8年6月1日(月曜日)

活動先 越前市

活動目的 議会の内容を市民に報告

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

土田のぶよし通信 13号

土田のぶよし通信13号 印刷（㈱プリントパック）

23,500部印刷 長編390×短編272

トンボ仕上がり裁断 81,810円×94.5%=77,310円（政務活動対象紙面は94.5%）

77,310円

福井新聞折込 土田のぶよし通信13号 17,525枚（折込日6月1日）

67,470円（うち57,035円を計上）

福井広報センター 土田のぶよし通信13号_新聞折込 3,000枚(折込日6月1日) 10,560円

内容別紙のとおり

土田のぶよし

通信



発行 土田のぶよし 携帯 090-2834-8861 Mail nobut2001@yahoo.co.jp

越前市議会 森づくり条例 制定へ

さらなる森林整備へ向けて
森づくり条例の制定を目指します

「みんなで森を守り育てるためのルール」を、議員が中心となってつくる取り組みです。土田のぶよしは、早速、政策研究会制度(3ページに掲載)を活用します。森林保全と林業振興を進めるため、理解ある市会議員、森林組合、学識経験者等と「森づくり政策研究会」を立ち上げました。

議員立法での条例制定を視野に、勉強会を開催していきます。

越前市は、面積の6割以上が森林です。森林は防災、水源の確保、環境保全など、暮らしを支える大切な役割を担っています。

しかし、森林の手入れ不足や担い手が減り、所有者が分からない森林も増え、山は荒れています。

9年前に、私の住む帆山町は山からの土石流被害を被りました。山に入ると、56豪雪で倒れたと思われる木が朽ちているなど、私が子供のころの手入れが行き届いていた山とは大違いです。朽ちた木々が雨で流され、小川をふさぎ、やがてふさぎきれず、大雨の中、土石流を起こしたのではないかと思います。

土砂災害や、鳥獣被害が増えるなど、私たちの生活への悪影響が心配されています。

こうした課題に向け、本市では森林・林業マスタープランを策定し、森林環境税の活用も進めてきました。

さらに、この政策研究会が主体となり、森づくりに関する基本的な考え方や役割を明らかにするため、「森づくり条例」の制定に取り組みます。条例制定にあたっては、皆さんの声をお伺いしたいと思います。

本条例の制定を通じて、健全で豊かな森林を守り、次の世代へしっかり引き継いでいきたいと考えています。



村国山からの土石流災害(平成29年10月帆山町)

森からの恵みは、どんなものがあるでしょう。想像してみませんか。

- ・目に見える恵み(直接利用できるもの)
- ・目に見えない恵み(森林のはたらき)
- ・地域にとっての恵み



この「議会報告通信」は、政務活動費を使って作成しています。

議会改革を進めています

住みよくするため、提案力・提言力の強化

議会活性化特別委員会



イラストはイメージです

国から地方への権限移譲が進みました。地方が自分で政策を決める領域が拡大し、立ち位置が変わりました。つまり、「政策の責任主体」が地方に移っているのです。

土田のぶよしは、議会活性化特別委員会に所属し、副委員長として、次のネット配信、政策研究会制度などを推進し、議会の活性化、議会改革に取り組んでいます。

委員会審議を ネットで配信

委員会のネット配信を、令和8年

6月議会から実施します。今までは、傍聴でないと見れなかった委員会審議が見れるようになります。これまでも本会議は、ケーブルテレビで中継と録画で配信しています。今後は、委員会審議についてもYouTubeによりネットで配信します。



「政策研究会」制度を創設 8年4月より

今までより議員が、条例案や政策を提案しやすくできるように、議会でのしくみをつくりました。

「政策研究会」は、議会議員からの申し出により、研究課題ごとに設置します。

申し出には、複数の会派の3人以上の議員が必要です。設置が認められると、さらに賛同する議員を募り、スタートします。政策研究会の会議は、公開で行います。

研究課題は、地域の重要な課題で、たとえば、空き家対策、災害対策、獣害対策、健康づくり、森づくりなどです。有識者や専門家を招いた勉強会、研究員同士の議論などを通し、深く掘り下げて調査します。

調査研究の結果に基づき、市長への政策提言や、議員提案による政策条例の策定を行います。

「通年議会」に向け研究

通年議会について、議論を進めています。従来の議会は「定例会中心（開催日程を定め年4回）」ですが、通年議会では、議会は基本的に“通年で開いている状態”になります。このことにより、市議会の委員会は、日程的なゆとりができ、所管事務調査が可能となります。

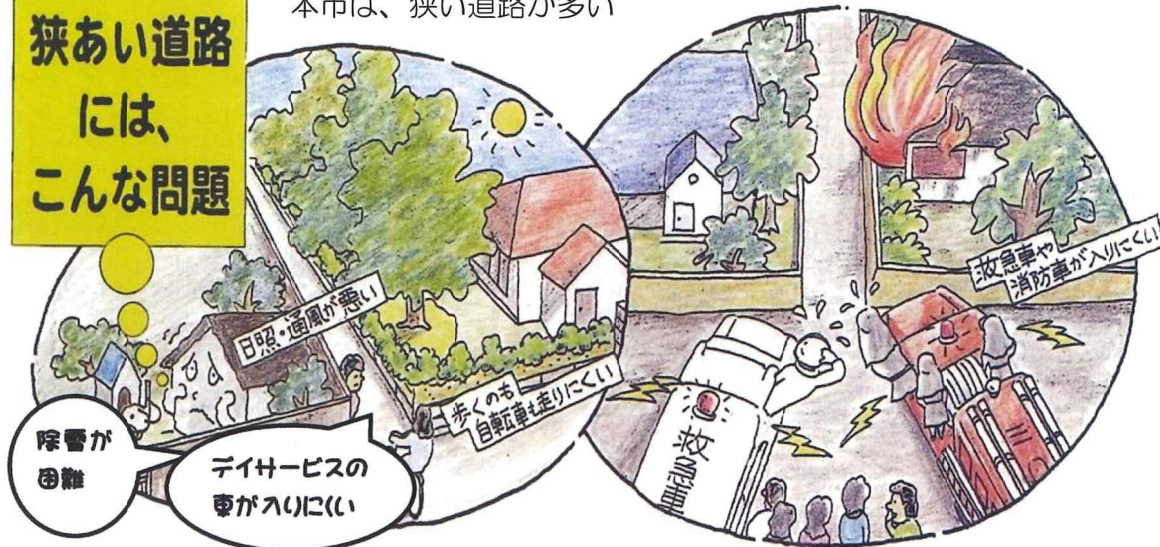


市議会議員の定数削減

次のテーマは、市議会の定数です。人口減少社会です。皆様のご意見をお聞かせ下さい。

ご近所の底力と行政の力で解消を提案
本市は、狭い道路が多い

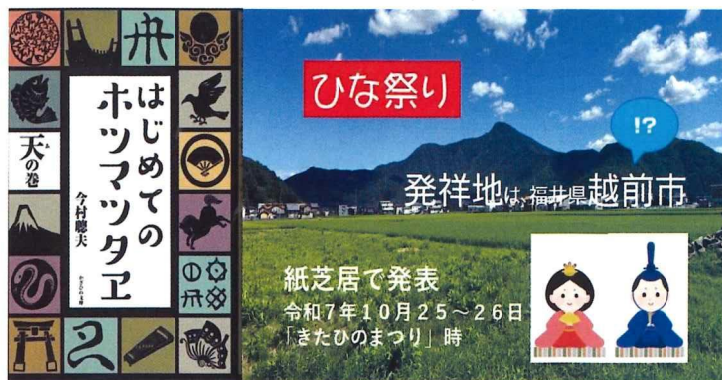
狭あい道路
には、
こんな問題



土田のぶよしの
議会活動報告ダイジェスト



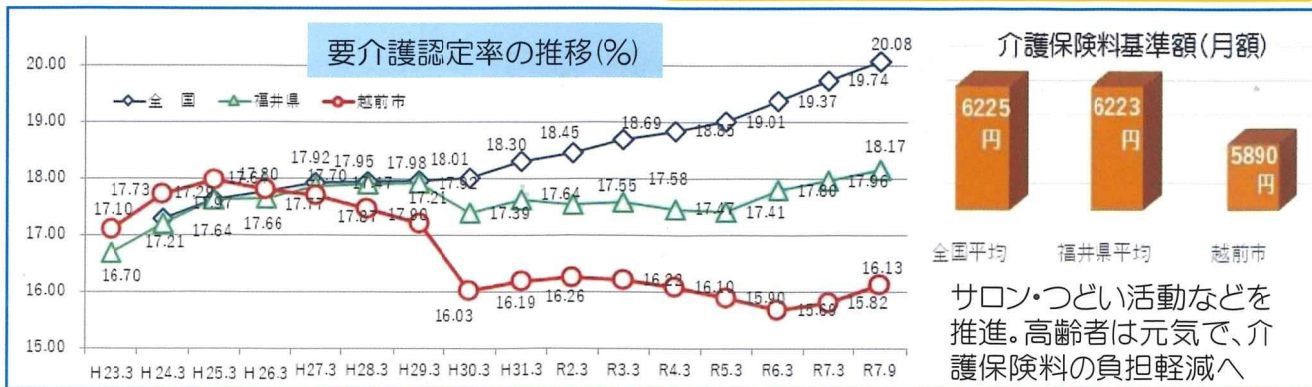
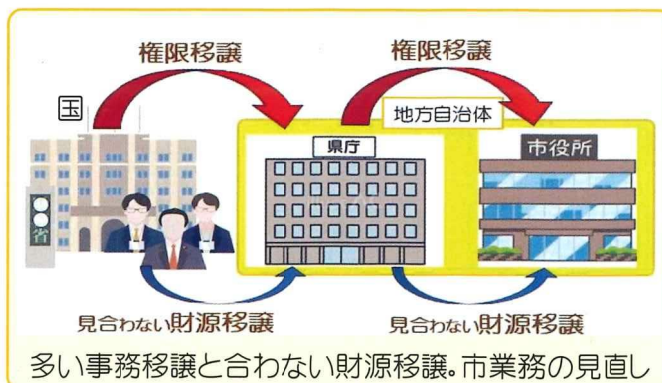
学校給食の無償化を推進 令和8年度より、無償化。



「ひな祭り」の発祥は、福井県越前市。発祥時期は、縄文時代後期とする文献・図書が発見。学習活動の推進



書のまちづくりの推進。「書道」は、令和8年ユネスコ無形文化遺産登録予定



吉野瀬川ダムが完成

吉野瀬川ダムが完成しました。ダムの運用は、6月7日からです。40年越しの完成です。重力式コンクリートダムで、総工事費は、451億円。30年に1度程度発生する規模の大雨に対し、浸水被害を低減させます。

40年にわたる取り組みの大きな成果であり、下流域の治水に資するものと高く評価いたします。関係者の皆様に感謝です。

一方で、近年の豪雨災害を踏まえると、ダム整備のみならず、流域全体で水を受け止める「流域治水」の視点が不可欠です。特に上流域の森林整備は、雨水の保水や流出抑制、土砂災害の防止など、「緑のダム」として重要な役割を担っています。ダムも、森林も、どちらか一方ではなく、あわせた取り組みが必要です。



吉野瀬川ダム (市提供)

ぜひ

市政報告会を開催します。ご参加をお願いします

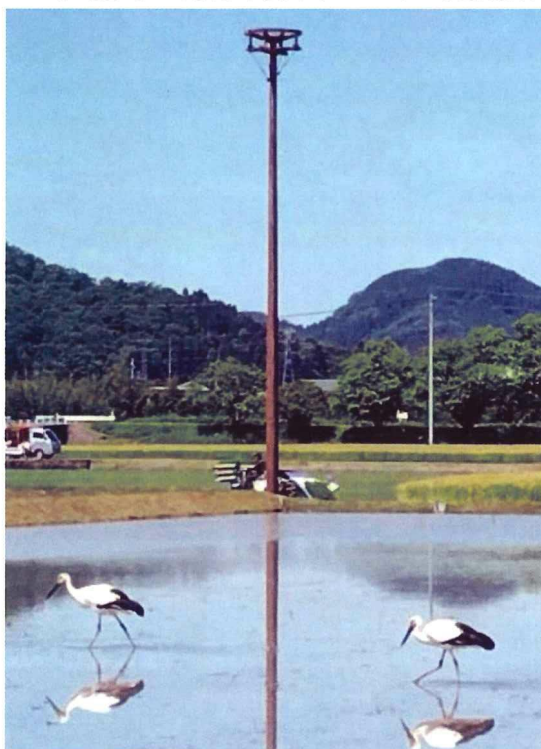
昨年に引き続き、市政報告会を開催させていただきます。皆様のご意見もいただければ幸いです。

開催日程は、右記のとおりです。ぜひともご参加くださいますようお願いいたします。

● おわりに

土田のぶよしは、市職員時に、コウノトリが舞う里づくりを担当。日本の最後の生息地の一つ矢船町にコウノトリがつかいでやってきました。これは、感動的。

(矢船町 野村政好氏R8年5月撮影)



開催期日・時間	開催場所
6月10日 19時30分	平林町公民館
6月14日 19時～	中新庄町公民館
6月17日 19時～	矢放町構造改善センター
6月19日 19時30分	ワークステップ広瀬

土田のぶよしの略歴

69才 越前市帆山町 父は土田帆山(書家)
福井大学工学部卒
元越前市職員

越前市議会議員(1期目)
会派「市民ネットワーク」幹事長
越前市環境審議会委員
市シルバーソフトバレーボール連盟会長
北日野地区自警消防隊連合会長
(公社)越前市スポーツ協会監事
(福)芦山会監事



土田のぶよしの
プロフィールは、
こちらから



土田のぶよしの
活動記録は、こ
ちらから



過去の土田のぶ
し通信は、こち
らから

▼ 広報紙按分率算出表

①	総面積(A4表裏)	212,704	mm ²
	縦	272	mm
	横	391	mm

②	除外面積	11,615	mm ²
	縦	115	mm
	横	101	mm

※議員のプロフィールに関する部分

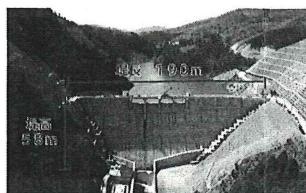
③	除外按分率	5.5%
---	-------	------

吉野瀬川ダムが完成

吉野瀬川ダムが完成しました。ダムの運用は、6月7日からです。40年越しの完成です。重力式コンクリートダムで、総工事費は、451億円。30年に1度程度発生する規模の大雨に対し、浸水被害を低減させます。

40年にわたる取り組みの大きな成果であり、下流域の治水に資するものと高く評価いたします。関係者の皆様に感謝です。

一方で、近年の豪雨災害を踏まえると、ダム整備のみならず、流域全体で水を受け止める「流域治水」の視点が不可欠です。特に上流域の森林整備は、雨水の保水や流出抑制、土砂災害の防止など、「緑のダム」として重要な役割を担っています。ダムも、森林も、どちらか一方ではなく、あわせた取り組みが必要です。



吉野瀬川ダム (市提供)

ぜひ

市政報告会を開催します。ご参加をお願いします

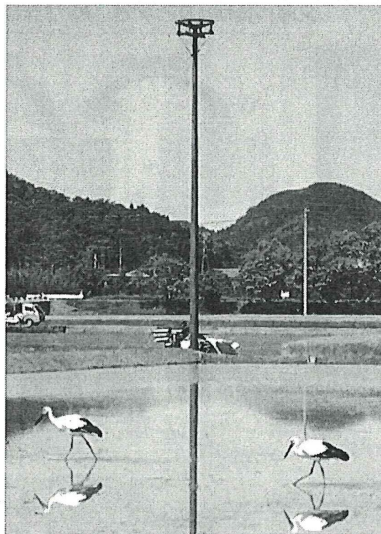
昨年に引き続き、市政報告会を開催させていただきます。皆さんのご意見もいただければ幸いです。

開催日程は、右記のとおりです。ぜひともご参加くださいますようお願いいたします。

● おわりに

土田のぶよしは、市職員時に、コウノトリが舞う里づくりを担当。日本の最後の生息地の一つ矢船町にコウノトリがつかいでやってきました。これは、感動的。

(矢船町 野村政好氏R8年5月撮影)



政務活動費の対象除外部分

69才 越前市帆山市 父は土田帆山(書家)
福井大学工学部卒
元越前市職員

越前市議会議員(1期目)
会派「市民ネットワーク」幹事長
越前市環境審議会委員
市シルバーソフトバレーボール連盟会長
北日野地区自警消防隊連合会長
(公社)越前市スポーツ協会監事
(福)芦山会監事



土田のぶよしのプロフィールは、こちらから



土田のぶよしの活動記録は、こちらから



過去の土田のぶよし通信は、こちらから

土田のぶよし

通信



発行 土田のぶよし 携帯 090-2834-8861 Mail nobut2001@yahoo.co.jp

越前市議会 森づくり条例 制定へ

さらなる森林整備へ向けて
森づくり条例の制定を目指します

「みんなで森を守り育てるためのルール」を、議員が中心となってつくる取り組みです。

土田のぶよしは、早速、政策研究会制度(3ページに掲載)を活用します。森林保全と林業振興を進めるため、理解ある市議員、森林組合、学識経験者等と「森づくり政策研究会」を立ち上げました。

議員立法での条例制定を視野に、勉強会を開催していきます。

越前市は、面積の6割以上が森林です。森林は防災、水源の確保、環境保全など、暮らしを支える大切な役割を担っています。

しかし、森林の手入れ不足や担い手が減り、所有者が分からない森林も増え、山は荒れてい

ます。9年前に、私の住む帆山市は山からの土石流被害を被りました。山に入ると、56豪雪で倒れたと思われる木が朽ちているなど、私が子供のころの手入れが行き届いていた山とは大違いです。朽ちた木々が雨で流され、小川をふさぎ、やがてふさぎきれず、大雨の中、土石流を起こしたのではないかと思います。

土砂災害や、鳥獣被害が増えるなど、私たちの生活への悪影響が心配されています。

こうした課題に向け、本市では森林・林業マスタープランを策定し、森林環境税の活用も進めてきました。

さらに、この政策研究会が主体となり、森づくりに関する基本的な考え方や役割を明らかにするため、「森づくり条例」の制定に取り組みます。条例制定にあたっては、皆さんの声をお伺いしたいと思います。

本条例の制定を通じて、健全で豊かな森林を守り、次の世代へしっかり引き継いでいきたいと考えています。



村国山からの土石流災害(平成29年10月帆山市)

森からの恵みは、どんなものがあるでしょう。想像してみませんか。

- ・目に見える恵み(直接利用できるもの)
- ・目に見えない恵み(森林のはたらき)
- ・地域にとっての恵み



森づくり政策研究会 発足!

この「議会報告通信」は、政務活動費を使って作成しています。

縦
272mm

横
391mm

議会改革を進めています

住みよくするため、提案力・提言力の強化

議会活性化特別委員会



イラストはイメーンです

国から地方への権限移譲が進みました。地方が自分で政策を決める領域が拡大し、立ち位置が変わりました。つまり、「政策の責任主体」が地方に移っているのです。土田のぶよしは、議会活性化特別委員会に所属し、副委員長として、次のネット配信、政策研究会制度などを推進し、議会の活性化、議会改革に取り組んでいます。

委員会審議をネット配信

6月議会から実施します。今までは、傍聴でないと見れなかった委員会審議が見れるようになります。これまでも本会議は、ケーブルテレビで中継と録画で配信しています。今後は、委員会審議についてもYouTubeによりネット配信します。

委員会のネット配信を、令和8年

「政策研究会」制度を創設 8年4月より

今までより議員が、条例案や政策を提案しやすくなるように、議会でのしくみをつくりました。「政策研究会」は、議会議員からの申し出により、研究課題ごとに設置します。申し出には、複数の会派の3人以上の議員が必要です。設置が認められると、さらに賛同する議員を募り、スタートします。政策研究会の会議は、公開で行います。研究課題は、地域の重要な課題で、たとえば、空き家対策、災害対策、獣害対策、健康づくり、森づくりなどです。有識者や専門家を招いた勉強会、研究員同士の議論などを通し、深く掘り下げて調査します。調査研究の結果に基づき、市長への政策提言や、議員提案による政策条例の策定を行います。

「通年議会」に向け研究

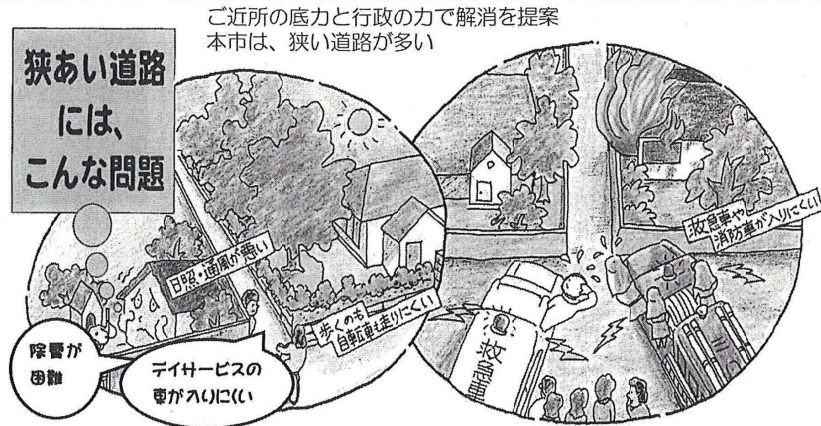
通年議会について、議論を進めています。従来の議会は「定例会中心（開催日程を定め年4回）」ですが、通年議会では、議会は基本的に「通年で開いている状態」になります。このことにより、市議会の委員会は、日程的なゆとりができ、所管事務調査が可能となります。

市議会議員の定数削減

次のテーマは、市議会の定数です。人口減少社会です。皆さんのご意見をお聞かせ下さい。



狭あい道路には、こんな問題



ご近所の底力と行政の力で解消を提案
本市は、狭い道路が多い



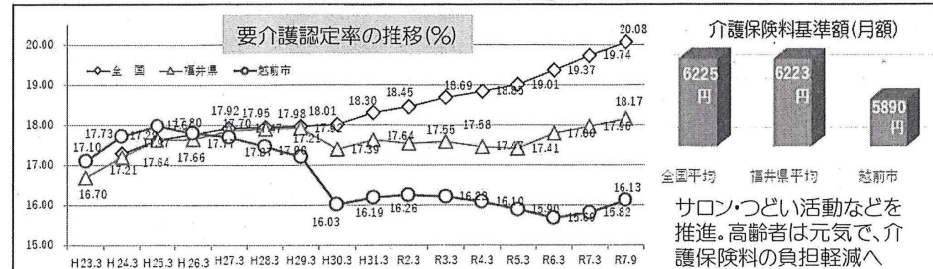
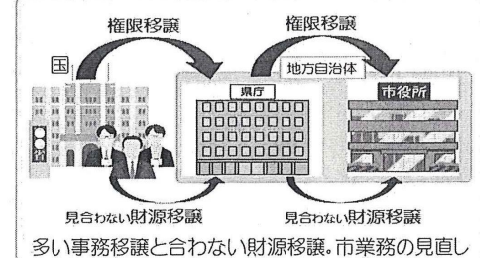
学校給食の無償化を推進 令和8年度より、無償化。



書のまちづくりの推進。「書道」は、令和8年ユネスコ無形文化遺産登録予定



「ひな祭り」の発祥は、福井県越前市。発祥時期は、縄文時代後期とする文献・図書が発見。学習活動の推進



土田のぶよしの
議会活動報告ダイジェスト